

## 炉物理部会ニュース (No. 11)

2003 年 12 月 12 日発行

### 目次

2003 年度炉物理部会拡大運営委員会 議事メモ .....	1
核データ部会・炉物理部会合同企画セッション報告 .....	3
メーリングリスト「核データ・炉物理研究と社会の係わり」の開設について .....	4
メーリングリスト「核データ・炉物理研究と社会の係わり」への参加申し込み方法 .....	6

---

### << 2003 年度炉物理部会拡大運営委員会 議事メモ >>

#### 1. 日時

2003 年 7 月 28 日(月)、21:00-22:00

#### 2. 場所

定山溪ビューホテル (第 35 回炉物理夏期セミナー)

#### 3. 出席者

運営委員

大杉(部会長)、島津(副部会長)、辻(庶務)、巽(若手)、名内(若手)

関係者

相沢(武蔵工大)、秋本(北大)、橋本(近畿大)、森(原研)

#### 4. 議題

##### (1) 2004 年度夏期セミナーについて

次回 2004 年夏期セミナーの幹事校として、名古屋大学に御願ひすることが了解された。来年度は、特に大学関係の 8 月のスケジュールに不確定要素が多いが、大学の都合を最優先して決定して良いのではとの意見があった。

##### (2) 2003 年秋の大会について

9 月 24(水)-26(金)に開催される秋の大会(静岡大学静岡キャンパス)について、部会に関連した下記スケジュールの報告があった。

・部会総会: 26 日(金)、12:00-13:00、D 会場

議題(案)；

- －本年度活動報告(中間)及び予定
- －2004年度夏期セミナーの紹介
- －その他

・部会懇親会：25日(木)、夜

総会は三日目となったが、懇親会は例年通り二日目に開催する。これまで行なってきた総会での「場所の最終連絡、出席者数の確認等」が不可能となるが、開催場所の連絡等はメールを活用し、齟齬の無いようにすることとした。

・シグマ・炉物理特別会合：25日(木)、13：00－15：00、E会場

- －次期 JENDL 計画
- －総合核データ利用システム
- －炉物理委員会「未臨界炉の炉物理 WP の報告」
- －核変換実験施設の検討状況

・炉物理・核データ合同企画セッション：26日(金)、9：00－11：00、D会場

パネルディスカッション「核データ・炉物理研究は、社会にいかに関係すべきか」

座長及び、産業界(3人)、炉物理分野(1人)、核データ分野(1人)からの、5人のパネラーの紹介と、各パネラーの発表予稿の紹介(回覧)があった。

(3) その他

部会の数も増え各部会の会合等が込み合っていて、慣例であった総会前の運営委員会の開催も困難な状況である。従って、今後はメール等の活用により運営委員間の連絡を密にし、運営委員会の開催を省くこともある、との報告があった。

## ＜＜ 核データ部会・炉物理部会合同企画セッション報告 ＞＞

2003年9月29日

石川眞(サイクル機構、炉物理部会・学术交流担当)

2003年日本原子力学会「秋の大会(静岡大学)」にて、核データ部会・炉物理部会合同企画セッション「核データ・炉物理研究は、社会にいかに関わるべきか」が開催されました。以下にその概要を報告します。

(1) 佐治座長の司会のもとに、前半は5名のパネラーの方々(坂井、丸山、田原、山本、山野)から様々な視点からの分析や提案がなされ、後半は、会場を交えて、技術的側面から許認可体制にいたるまでの、広範な問題に関する非常に活発な議論が行われた。

結論として、「様々な立場や意見はあるが、とにかく、核データ・炉物理研究が、社会との係わりにおいて、何かの行動を始める必要がある。」という点では、参加者の概ねの合意がとれたようである。

(2) 上記の合意の基に、以下のアクションをとることが決まりました。

- ・核データ部会と炉物理部会の中に、標記テーマに関する定常的な検討の場を設ける。具体的には、会議費の不要なメーリングリストを設置してその上で議論する。

(席上でサイクル機構から、公的機関であるサイクル機構がそのメーリングリストの管理を行ってもよいとの申し出があった。)

- ・このメーリングリストでの議論の結果は、半年ごとの学会で開かれる「核データ・炉物理特別会合」で、定期的にその進捗を報告することとする。

- ・核データ部会長と炉物理部会長は、各々の部会から、1名の幹事(窓口)をまず指名する。期限は1ヶ月以内とし、この2名のリードの基に活動を開始することとする。

(なお会場から、「メーリングリストでの議論の内容を、核データ部会と炉物理部会のホームページに自動的に転送・保管して、メーリングリストに参加していない人でも議論を見られるようにしてはどうか」との提案があった。技術的には問題がないので、このような議論の公開を行うかどうかは、幹事の判断にまかせることとなる。)

## ＜＜ メーリングリスト「核データ・炉物理研究と社会の係わり」の開設について ＞＞

炉物理・核データ企画セッション  
「核データ・炉物理研究は、社会にいかに関わるべきか」  
を受けたメーリングリスト開始に関する基本方針

2003年12月5日  
企画セッション幹事

2003年日本原子力学会「秋の大会」での炉物理部会・核データ部会合同企画セッションでは、「核データ・炉物理研究は、社会にいかに関わるべきか」という題材に対し、各界からの要望及び問題提起がなされました。この各界からの要望に応えること、及び問題を解決していくことで「核データ・炉物理研究」は社会に関わっていくことができ、このためには何らかの行動を始める必要があるとの結論が得られております。

これを受け、炉物理部会・核データ部会で共通の定常的な検討・議論の場としてメーリングリストを設置し、議論を深めると共にアクションプランを作成していくこととなりました。

このメーリングリストは、「課題の抽出及びその解決のためのプラン作成」の場であることを基本方針とします。

前述のパネルディスカッションでは、既に幾つかの課題が出されております。それを先ず整理させていただきますと

- (1) 核データ・炉物理コードの品質保証/標準に関する課題
- (2) 核データ・炉物理に関する解決すべき課題
- (3) 核データ・炉物理の今後の技術開発に関する検討
- (4) 核データ・炉物理研究の社会への説明責任に関する課題

に大別されます。

アクションプランは、多方面からのご意見を頂戴するため、今後メーリングリストの中で議論しておくことが望ましく、メーリングリスト開始に当たっては、課題の具体例を幹事案として提示させていただきます。

### 1. 核データ・炉物理コードの品質保証/標準に関する課題

- (1) JENDLの普及促進に関する課題（商業用炉心設計の実績なし）
- (2) JENDL3.3の品質保証（適用範囲、データの素性、特徴の文書化）に関する課題
- (3) 核データの品質保証体制構築に関する課題
- (4) 核設計コードの標準の内容と位置付け

2. 核データ・炉物理に関する解決すべき課題
  - (1) U-238 共鳴断面積の精度に関する課題
  - (2) 臨界実験解析における増倍率の燃料対減速材体積比依存性に関する課題
  - (3) 臨界実験解析における増倍率の濃縮度依存性に関する課題
  
3. 核データ・炉物理の今後の技術開発に関する課題
  - (1) 将来に向けた核データ・炉物理のニーズ調査に関する課題
  - (2) 将来に向けた核データ・炉物理の技術力維持に関する課題
  
4. 核データ・炉物理研究の社会への説明責任に関する課題
  - (1) 核データ・炉物理に関する課題の社会への説明について（過去）
  - (2) 核データ・炉物理に関する課題の社会への説明について（今後）

まず、上記幹事案を今年度中に修正・加筆・削除頂き、次年度から短期的な課題と中長期的な課題に分けて、今後のアクションプラン作成に進みたいと思います。

上記課題については、2004 度前半に具体的な作業母胎案を含めたアクションプラン案を作成し、2005 年度から何らかの組織で作業が開始できるよう核データ・炉物理部会として調整を図っていきたいと思います。

中長期的に解決していくべき課題の中には、学会の枠を超えた議論が必要になるものも予想されますが、そのような課題に対しては、将来のコンセンサス作りのための協議の場という位置付けとしたいと思います。

尚、2004 年の秋の学会で中間報告、2005 年の秋の学会で最終報告を行って、本メーリングリストは解散します。2005 年度以降は、本メーリングリスト内で抽出された課題と具体的アクションプランを別組織に引き継ぎ、また、中長期的な検討課題についても、別途それらを継続するメーリングリストに移行します。

以上、炉物理・核データ企画セッションとして開始するメーリングリストでは、「核データ・炉物理研究は、社会にいかに関わるべきか」という議論を継続し、課題解決に向けたアクションプラン作成の場として運用して行くことと致したく、皆様の議論への参加をお願い致します。

## ＜＜ メーリングリスト「核データ・炉物理研究と社会の係わり」への参加申し込み方法 ＞＞

会員各位殿

核データ部会長 小林捷平

炉物理部会長 大杉俊隆

2003年日本原子力学会「秋の大会」にての核データ部会・炉物理部会合同企画セッション「核データ・炉物理研究は社会にいかに関わるべきか」での問題提起を受け、佐治座長を始めパネラーの方々を含めた両部会関係者の間にて今後の進め方について議論を進めてまいりました。この結果、核データ部会及び炉物理部会での共通の定常的な検討・議論の場としてメーリングリスト「核データ・炉物理研究と社会の係わり」を設置し、議論を深めると共に、今後のアクションプランを作成していくことになりました（今後の詳細な活動方針は、添付しました「基本方針」に示されています）。

また、これらの活動の世話人として核データ部会から深堀氏(原研)及び炉物理部会から松本氏(三菱重工)に、メーリングリストの設定・管理は石川氏(サイクル機構)にお願いすることになりました。

各位におかれましては、本メーリングリストにメンバーとして参加され、積極的に議論に参加して頂きたく御願ひ申し上げます。

なお、メーリングリスト「核データ・炉物理研究と社会の係わり」参加のお申し込みは、サイクル機構の石川氏（アドレス：[ishikawa@oec.jnc.go.jp](mailto:ishikawa@oec.jnc.go.jp)）へ直接メールでお願いいたします。必要な情報は、

氏名・所属組織・メールアドレス

の3点のみです。本メーリングリストは2003年12月15日（月）から運用を開始する予定ですので、12月12日（金）の17時までにお申し込み頂ければ、最初から投稿を受け取ることができます。それ以降でもお申し込み頂ければ、随時、追加登録を致します。